

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行 浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾461-1
電話 0267-67-2460

2023(令和5)年

仏暦2566年

4月号

(第139号)

実践運動 総合テーマ『そとつながる ホッがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～』



住職 法話

願いを建て 誓いをおこす

建立無上殊勝願
超発希有大弘誓
無上殊勝の願を建立し、
希有大弘誓を超発せり

「現代語訳」
この上なくすぐれた願をお
たてになり、世にもまれな
大いなる誓いをおこされ
た。

前々号の二月に、法蔵菩薩
が世自在王仏に向かい四十八
にもわたる願(四十八願)を
述べられたことにふれました
。そして、この願を述べお
わつてから、次のように説い
たと、『無量寿経』にありま
す。

わたしは世に超えすぐれた
願をたてた。必ずこの上な
いさとりを得よう。

この願を果たしとげないよ
うなら、誓って仏にはな
らない。

わたしは限りなくいつまで
も、大いなる恵みの主とな
り、力もなく苦しんでいる
ものをひろく救うことができ

きないようなら、誓って仏
にはならない。

わたしが仏のさとりを得
たとき、その名はすべての
世界に超えすぐれ、そのす
みずみにまで届かないよう
なら、誓って仏にはなら
ない。

これは浄土真宗のお経本に
もある、「我建超世願：」と
始まるお馴染みの『重誓偈』
の最初の部分の現代語訳で
す。この上なくすぐれた願
を必ず成し遂げて、苦しみ迷
えるものを救うために、「南
無阿弥陀仏」という名をすべ
てのものに聞こえさせなけれ
ば「誓不成正覚」(誓って仏
にはならない)と重ねて誓わ
れているところから名付けら
れています。お題の今月の一
行も、その部分を表していま
す。

このなかでは、「願い」と
「誓い」ということが重要に
なっています。同じくお経本
に、「光顔巍巍…」と始まる
『讚仏偈』があります。これ
も『無量寿経』にあり、そ
のなかでも、

わたしは誓う、仏となる
ときは、必ずこの願を果た
しとげ、生死の苦におのの
くすべての人々に大きな安
らぎを与えよう。

と誓われています。これを
「誓願」と言い、一貫して菩薩
がたが願ひ、必ず成し遂げよ
うと誓いを立てることです。

「誓い」といえば、スポー
ツなどでは「宣誓」をします。
私は、結婚式で仏さまを前
にして、坊守(妻)と「誓ひ
の言葉」を述べたことを思い
起こしました。人の心という
ものは迷い揺れ動くもので
す。しかし、変わるこのな
いもの、例えば仏さまに誓
うということは重要な意味を
もっています。

法蔵菩薩も、仏になるた
めに、具体的な願いを建て果
たせないようなら、わたしは
仏にはならないとまで言わ
れて、誓いをおこされたのだ
と味わえるところです。



浄土真宗 新 仏事のイロハ

三、お墓と納骨

―亡き人を偲ぶ縁として―

「墓相が気になる」

墓石にヒビが入ったら、どうする？

ある人がお墓を建てたところ、石碑（軸石）にちよつとしたヒビが入っているのに気づき、慌てて新しい石に取り替えられました。しかし、一年もたたないうちにまたヒビが入ったので、「きつとこれは故人がこの場所を嫌っているのだ」と思い、高価な代金を再び払って、別の墓地に移されました。この人は墓相を気にし「墓石にヒビが入ると家族が大ケガをしたり、家庭不和になる」と思い込んでおられたのです。

だいたい、家の壁に少しぐらいのヒビが入ったからといって、家そのものを建て替える方はいないでしょうに、こ

と墓石となると、わずかなヒビでも、目ざとく見つけて取り替えるのですから、墓相を気にする人は相当のこだわりようです。ヒビのほかにも、墓石の一部が欠けたり、傾いたりすると「家運が傾き、不幸を招く」などと言われるようです。

どれもこれも、自分や家族に災いが起こるのを恐れて神経質になるのですが、墓石の状態と家族の災難の間には何ら因果関係はありません。むしろ災いが起こった時に、原因を墓石に押しつけ、先祖のせいにして事実を正しく見ようとしない心が問題でしょう。

墓相にこだわるということ、根も葉もない迷信に振り回されることであり、かえって不安や恐れが増して、少しも心からの安らぎを得られない結果となります。

もつとも、ヒビ割れが実際に目立ってきたり、墓石が傾いて倒れそうになれば、修理や取り替えを行わなければならないことはいうまでもありません。しかし、それは「不幸を招く」からではなく、ご先祖の遺徳を偲び、仏さまのお慈悲を味わう場として、すつきりと気持ちよく手を合わせるためです。

なお、お墓を移転（改葬）することについても「移すと悪いことが起こる」とか、気にすることは一切ありません。

ただし、改葬の前後には、それぞれの場で僧侶にお勤めしてもらってください。

「浄土真宗 新 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より



年忌法要表

1 周忌	2022 (令和 4) 年	23 回忌	2001 (平成13) 年
3 回忌	2021 (令和 3) 年	25 回忌	1999 (平成11) 年
7 回忌	2017 (平成29) 年	27 回忌	1997 (平成 9) 年
13 回忌	2011 (平成23) 年	33 回忌	1991 (平成 3) 年
17 回忌	2007 (平成19) 年	50 回忌	1974 (昭和49) 年

編集後記

一新してから、編集作業もし慣れてきました。「正信念 仏偈」の内容を隅々までお伝えするとなると大変です。大まかな意味をお伝えし、私なりに身近な話題に合うような法話にしていきたいと考えています。◆来月、当紙表面下の慶讃法要に本山へ参拝に行く予定です。何か報告が出来ればと思っています。